



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



今日のみことば

主の降誕 夜半のミサ A年(2022年12月25日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：イザヤ書 9章1—3、5—6節

第二朗読：使徒パウロのテトスへの手紙 2章11—14節

福音朗読：ルカによる福音書 2章1—14節

...

説教

聖堂に飾^{かざ}ってある、幼子イエスさまとマリアさま、そしてヨセフさまのご像^{ぞう}を見つめながら、いろいろなことを思いめぐらしました。

今年、ベトレヘムの馬小屋に眠る幼子イエスさまは、いのちの原点となりました。そして、少し戸惑^{とまど}いながらも幼子イエスさまを見つめるマリアさまとヨセフ様から生きること^{けつだん}の決断のようなものをいただきました。

『歌』という池辺晋一郎先生がお作りになった歌曲を思い出して、口ずさんでいます。

歌

新川和江作詞、池辺晋一郎作曲

はじめての子を持ったとき

女のくちびるから

ひとりでに洩^もれだす歌は

この世でいちばん優^{やさ}しい歌だ

それは ^{とお}遠くで

^あ荒れて ^{さかだ}逆立っている 海のたてがみをも

おだやかに ^{なだ}宥めてしまう

星々を うなずかせ

旅びとを ^ふ振りかえらせ

風にも忘れられた さびしい谷間の

^や瘦せたリンゴの木の枝にも

あかい ^ひ灯をともす

おお そうでなくて

なんで子どもが ^{そだ}育つだろう

この いたいけな

^{むぼうび}無防備なものが



この世でいちばん優しい歌を歌われるマリアさまの歌声に ^{ささ}支えられながら、わたしのこころの
中で育つ、いたいけで無防備な方とともに、新しい年も ^{あゆ}歩んでいきたいです。

上記の楽曲はこちらから聴けます。

